

## ひとりの女性の意識を変えた砕氷艦「しらせ」体験航海

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、12月18日（月）、民間企業に勤める22歳の女性の訪問を受けた。

彼女は、広報官からの案内を受けて本年10月横須賀地方総監部にて実施された砕氷艦「しらせ」の体験航海に参加し、勤務にあたる女性自衛官の姿や装備品に触れ、艦艇勤務の魅力にとりつかれた。自身も海上自衛官になり、艦艇で勤務したいという想いが募り、志願票を提出しに訪れた。

彼女は「自衛隊では女性が活躍する場がたくさんあること、様々な可能性があることを知り、自衛官になりたいと強く思いました。将来は「しらせ」に勤務して南極

に行き、オーロラをこの目で見てみたいです」と目を輝かせて話し、志の強さがかがえるようだった。

広報官は「自衛隊にそれほど興味を持っていなかった彼女が体験航海を通じて、これほど意識が変わるとは正直言って驚いている。対象者にとって、自衛隊の仕事を感じることがとても重要なことだと再認識することができた。今後の募集広報業務に役立てていきたい」と語った。

厚木募集案内所は、体験航海を通じて、海上自衛隊の隊員が整斉と勤務をしている姿に強い感銘を受け、将来有望な若者が自衛隊を志願してくれたことはとても有意義なことであり、今後募集対象者に様々な体験をする場を提供し、自衛隊に関心を抱いてもらえるように積極的にPRし、1人でも多くの志願者を獲得できるように募集活動に励んでいきたいとしている。



砕氷艦「しらせ」体験航海に参加した時の様子（横須賀地方総監部）

## 高校生が神奈川地本募集課を訪れ防大推薦合格を報告

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、12月19日（火）、防衛大学校に推薦合格した女子高校生2名の訪問を受けた。

これまで、緊張した様子を見せていた2人だったが、広報官と再会すると笑顔を見せ、合格した嬉しさで声も弾んでいるようだった。歓談後、広報官は2人を連れて神奈川地本募集課を訪れ、募集課長へ合格の報告を行なった。

その後の募集課長、募集班長を交えての歓談では、試験勉強で苦労したことや当日の試験での思いがけない出来事などを楽しそうに話し、募集課長から面接試験について聞かれると女子高生は「何か運動はやっていましたかと聞かれ、現在は何もしてありませんが、合格したら始めたいと思います」と答えた」と話すと、一同は笑いに包まれた。また「模擬面接でアドバイスを頂き、感謝の気持ちでいっぱいです」と話し、終始和やかな雰囲気だった。

溝の口募集案内所は、今後多くの合格者を輩出できるように募集広報活動に努め、引き続き合格者たちを入隊・入校まで導いていきたいとしている。



募集課長らと歓談する防大に合格した高校生